

令和7年度 地域活力創生部いこま考座

〔開催概要〕

とき	8月30日(土)	9時15分～12時15分
ところ	市役所 大会議室	
参加人数	17人	
市側出席者	・地域活力創生部長、地域活力創生部次長、環境保全課長、環境保全課長補佐、同課職員	
プログラム	・地域活力創生部の主な仕事内容についての説明 ・生駒市のごみ みんなでできることを考えるワークショップ	

〔まとめ〕

地域活力創生部では、市民生活や産業、環境など多岐にわたる分野を担い、「身近な暮らしの安心」を守るとともに、生駒で挑戦する人や団体、事業者を後押ししていることを紹介。その役割を市民の皆さんと共有できたのは大きな成果であった。また、生駒市一般廃棄物ごみ処理基本計画の改定を控える中で、ごみの減量に関する多様な意見を得ることができた。ワークショップにおいては、市民と市職員が共に意見を出し合うことで双方向のやり取りが生まれ、充実感を得たとの声もあった。

参加者アンケートでは、多くが「良かった」「まあまあ良かった」と回答しており、市民の前向きな参加によって相互理解が深まる貴重な機会となった。

〔主なご意見等〕

○グループワーク

<生駒市のごみ減量・資源循環の課題探し>

- ・ごみ出しのマナーが悪い、分別ができていない
- ・生ごみと資源ごみの混在
- ・使えそうなものが捨てられている
- ・使用できるものを再利用したい
- ・重いものを拠点まで持っていくのが大変

<生駒市の素敵なおところ探し>

- ・汚れたプラは洗って出す
- ・まちのえき(こみすて)
- ・治安がいい
- ・人材が豊か
- ・ごみ拾いをライフワークとしてくれている方がいる
- ・市民の意識が高い
- ・大きな災害がない

<課題と素敵なおところを掛け合わせてできそうなアイデアをみんなで考えよう>

- ・もったいないプラ市
- ・インセンティブ、得になる分別ルール(お得、ワクワク)
- ・イベントで説明会を設ける
- ・伴走者を見つける
- ・社会課題をビジネスにする
- ・自治会館の活用



グループで出し合ったアイデアを共有しました。